

津波ひなん大作戦

～はれるんと にげるんだ！～
(こども・小学生向け学習教材)

マニュアル

2024年12月2日 初版

2025年5月16日 修正

2026年5月22日 修正

2026年6月5日 修正

石垣島地方気象台

沖縄気象台

1. 概要

津波ひなん大作戦とは？

クイズに答えて前に進み、津波避難を体験・体感する参加型防災ゲーム

◆ゲームの流れ

1. 海の近くにいる設定でスタート
2. 地震発生（緊急地震速報への対応訓練を兼ねる）
3. 津波に関する2択クイズに正解→1マス前進を繰り返す
4. 津波に見立てたブルーシートが後ろから迫る
5. 第3波までクイズと津波来襲を繰り返す
6. 最後はお助けクイズで津波避難ビルに避難も可

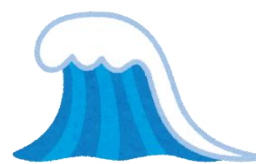
※詳細は別添の「津波ひなん大作戦_プレゼン資料（台本ノート入）.pptx」を参照

◆ゲームのねらい

- ◎津波の特性を体感する
 - ・津波はくりかえし襲ってくる
 - ・後から来る波が大きい場合がある
- ◎津波避難に関する情報を知る
 - ・緊急地震速報
 - ・津波フラッグ
 - ・津波避難ビル

◆こんな場面で使えます

- ・学校の防災学習
- ・地域の防災イベント



◆対象年齢・必要時間など

対象年齢：主に小学生（低学年）
対象人数：20～50人程度を推奨
当日準備時間：約60分（打合せ・設営時間合わせて）
ゲーム時間：25～30分
会場：体育館・多目的室など（床に養生テープを貼れる場所）

◆事前準備手順

- ・別添の「津波ひなん大作戦_プレゼン資料（台本ノート入）.pptx」をもとに対象や開催場所にあわせたクイズに調整する。
- ・「2.必要人員」と「3.必要物品」の準備をする。
- ・「4.会場設営」と「5.事前打合せ」についてスタッフ内や会場管理者と打合せておく。

2. 必要人員

① 司会者…1名

元気にしゃべるタイプが向いている。



② 遅れ役…1名

避難行動をとらない・遅れた場合にどうなるかを見せる役。いなくても実施可能だが、遅れ役の演技により正しい行動とのメリハリがついて理解しやすいため推奨。ある程度防災知識のある人だとより良い。(何が不適切な行動か理解しているため)



③ 津波役…3～5名 (会場サイズにあわせる)

最低1名は流れを理解したスタッフが必要。

その他は当日打合せの大人でも可。

必須ではないがカラフルなカツラとサングラス等奇抜な見た目にする、津波の恐怖感を和らげ、楽しみやすくなる。



④ 太鼓…1名

いなくても実施可能。

持ち運べる太鼓で津波と一緒に動くと盛り上がる。



⑤ 津波フラッグ・お助けクイズ補助役…1名

全体補助も兼ねる。

司会者がクイズの後、参加者を1マス進ませる指示を失念することがあるので、その時には「正解した人は進んでください」と声かけする。



その他、撮影や子ども達の誘導など、必要に応じて人員を確保する。

3. 必要物品

◆必須

<input checked="" type="checkbox"/>	物品名	備考
<input type="checkbox"/>	パソコン	HDMI接続可か確認
<input type="checkbox"/>	ケーブル類	HDMIケーブルや延長コード
<input type="checkbox"/>	マイク	
<input type="checkbox"/>	スピーカー	効果音等が内蔵スピーカより大きく出せる
<input type="checkbox"/>	レーザーポインタか指示棒	スライド送り機能があると良い
<input type="checkbox"/>	スクリーン	
<input type="checkbox"/>	プロジェクター	
<input type="checkbox"/>	ブルーシート	高さ1.8m以上。会場に合わせた幅に連結
<input type="checkbox"/>	番号シート★ (会場にあわせて2部以上)	A3印刷推奨。ラミネート加工すると便利
<input type="checkbox"/>	養生テープ	必要量をしっかり見積もっておく
<input type="checkbox"/>	津波避難ビルのパネル★	拡大印刷して段ボールに貼っても良い
<input type="checkbox"/>	はれるん★	ぬいぐるみ or 印刷物

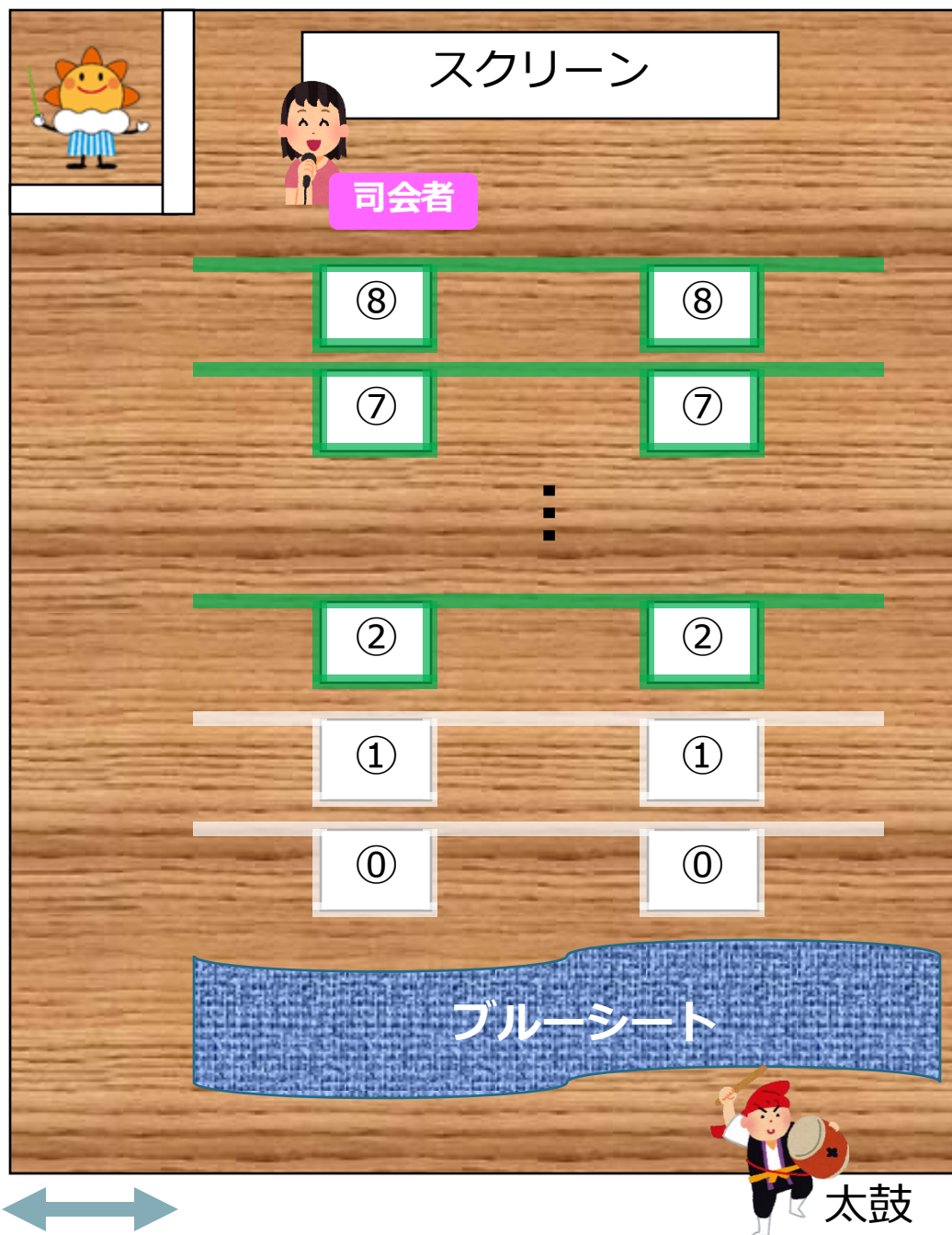
★…「津波ひなん大作戦_印刷物.pdf」を利用する

◆あると便利

<input checked="" type="checkbox"/>	物品名	備考
<input type="checkbox"/>	巻尺	ラインテープを等間隔で貼れる
<input type="checkbox"/>	ワイヤレスマイクかピンマイク	司会者が自由に動きやすくなる
<input type="checkbox"/>	スタッフ名札やTシャツ	スタッフの見分けが付きやすくなる
<input type="checkbox"/>	太鼓	持ち歩けるタイプが便利
<input type="checkbox"/>	津波役の小物	カラフルなカツラやサングラス等

4. 会場設営

- ・ ラインテープの長さは使用する部屋や人数に合わせて見積もっておく。
- ・ 番号シートの枚数はラインテープの長さに合わせて準備する。
- ・ 番号シートは4辺全て養生テープで貼ること（「6.参考写真」左下）
（つま先が隙間に入ってつまづくことのないように）
- ・ はれるんと津波避難ビルのパネルは黒板の裏などに隠しておく。
- ・ 見学者の立ち位置は両側がおすすめ（見やすく邪魔にならない）。



参加者と津波の進行方向

終盤に津波避難ビルへ避難
できるよう、片側はスペ
ースを空けておくこと

※ラインテープは海岸を白(ビーチ)、陸を緑のイメージで
使い分けられているが必須ではない

5. 事前打合せ

◆事前◆

①配慮が必要な人はいないか

- ・東日本や能登の地震で被災し、フラッシュバックする人はいないか。
- ・ポーズをしたり足踏みをすることが難しい子はいないか。
※ポーズは手のみでもできるので車いすでもクイズ参加は可能
※足踏みが難しい子は先生が抱えて登る設定にするなど事前調整
- ・大きい音に過敏に反応する子はいないか
※緊急地震速報で泣き出す子どももいる。流さないわけにはいかないので、すぐ近くに保護者に待機してもらうなど事前調整。

②ゲームの後のメについて

- ・このゲームだけでは「楽しい」で終わってしまう。
- ・司会者から交代し、しっかりと語りかけて締める人がいると良い。
(自治体や気象台の幹部、校長先生など立場年齢が上の人だとメリハリがきく)



③学校や地域の事情を確認

- ・特に第5問は学校の立地で変わるので必ず事前にスライドを準備すること。
- ・子ども達がよく遊ぶ場所や多く住んでいる地域などもきいておくと良い。

◆当日◆

①遅れ役との打合せ



- ・当日で良いが15分程度必要。
- ・緊急地震速報は無視、その後の問題は正解し3マス目まで進むのが基本。
- ・ただし真面目に回答しているのに間違ってしまった参加者の最後尾より前には出ない。
- ・第1波のあとは2問連続で不正解し3マス目のまま、第2波で退場。
- ・その後は津波役に加わるなど臨機応変に対応。

②津波役との打合せ



- ・当日で良いが10分程度必要。
- ・ブルーシートを第1波、2波、3波、と高くしていってもらうことや遅れ役を覆う動きを説明し、一度やってみると良い。
- ・特に第1波は参加者の回答状況によって進むマス目が変わるので注意。

③太鼓役との打合せ



- ・当日に2分程度で良い。
- ・津波の進行にあわせて太鼓を叩いてもらう。引き波も小さめに叩く。

6. 参考写真



会場全景、前方から撮影
(この時養生テープが足りず⑧は短め)



緊急地震速報が鳴ったとき



第2波に遅れ役が襲われる



太鼓役

シートを上から被せ、遅れ役は裏側に出る



津波の準備風景。
ブルーシートは適宜連結しておく



津波避難ビルにのぼったこども達
シートより外側に寄ってもらうのがポイント



番号シートの貼り方。
周囲を隙間なく貼ること。

